

施策評価シート（令和3年度 実績）

基本目標	新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる
------	----------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	特色ある教育活動の推進	評価者	教育部長			
施策内容	二宮町で進めている小中一貫教育等の特色ある教育活動は、子育て世代の転入も見据えた大きな魅力であるため、さらなる教育内容の充実を図ります。また、教育の質の向上のため、教職員の働き方改革も併せて推進していきます。					
主な事業	予算等事業名	行政評価結果	KPI達成への有効性	説明		
	1	小中一貫教育研究事業（教育研究所経費）	適当	有効だった	計画策定に向けて、着実に事業推進を行った。	
	2	英語教育推進事業	良好	有効だった	英検の受験者が増加するとともに、取得率も上昇した。	
	3	ICT教育推進事業	適当	有効だった	ICTを活用した授業数が着実に拡大した。	
	4	コミュニティ・スクール運営促進事業	適当	有効だった	コロナ感染状況に応じた中で、コミュニティ・スクールの活性化を促進した。	
	5	地域学校協働活動推進事業	適当	有効だった	コロナ感染状況に対応して、放課後子ども教室等の活動を推進することができた。	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	中学3年生の英検3級取得率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	45.8	50.0	50.0	50.0	B
	実績		35.2	42.6		
	分析	計画値の達成に向けて、着実に実績を上げている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	75.6	76.1	76.6	77.0	B
	実績		コロナに伴い中止	72.2	－	
	分析	計画値を達成していないものの、一定の成果を挙げている。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	放課後子ども教室の参加率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	15.5	16.0	16.5	17.0	A
	実績		19.5	26.9	－	
	分析	コロナウイルスの感染者の状況が落ち着いていた時期に開催したことにより参加者の増につながった。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案			

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大による活動の制限に対し、特に児童生徒の学習機会の確保に努めた。 ・円滑かつ迅速なICT環境の整備やコミュニティ・スクールとしての地域の方々の力などにより、児童生徒の生きる力を育む取り組みが進んだ。 			
	課題	①これからの生きる力を育む取り組みとしての小中一貫教育については、計画の策定に向けて、取りまとめを行い着実に推進していく必要がある。			
	改善点 (課題番号 に対応)	①令和4年度の早い時期に計画を策定し、施設分離型小中一貫教育校の準備を整えていく。また、併せて、施設一体型小中一貫教育校についても地域住民、保護者、町民などの参画により様々な角度からの研究をスタートさせていく。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ●教育環境の充実は、移住の大きな要因となり得ることから、時代の変化に合わせた教育を行うためにKPIの再検討を行うなど、積極的な取り組みが必要である。 ●子どもにとって尊敬や目標の対象となるような、魅力的な大人と接する機会を創出するため、小中学校のプログラムに、社会経験が豊富で見識のある方を講師として招くことも効果的と考える。 ●生涯学習に関する小規模な講座に幅広い年代が関心を持って参加していることから、必要とされる情報を精査し、教育に組み入れていくことができるようにしていくことが必要である。 ●子どもたちの文化力、芸術力、生活力、体力などの人生を楽しく過ごすため必要な力を育てる教育の検討を行い、将来に夢や目標を持つ児童生徒数の増加を図るため、教育の特色を考えていくことが重要である。 ●小中一貫教育については、言葉では知っていても、理解を含めた認知度は未だ低いことから、メリットや効果について広報紙などで引き続き説明をしていく必要がある。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	小中一貫教育研究事業 (教育研究所経費) (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・小中一貫教育については、保護者などの関係者にメリットや効果分かりやすいよう説明するとともに、内外への広報を行うことで、制度の認知度を高めながら進める。
	2	英語教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・整備されたICT環境も活用しながら、より効果的で実用性が身に付く英語教育のあり方を研究する。
	3	ICT教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・時代に合った教育を行うため、ICT環境を活用し、子どもたちが安心して学ぶことのできる学習環境を提供する。

	4	コミュニティ・スクール運営 促進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・各学校の運営協議会を中心に、 子どもたちの文化力、芸術力、生活 力、体力などを育む特色ある教育を 目指した研究を進める。
	5	地域学校協働活動推進 事業 (担当課：生涯学習課)	現状維持	継続推進	・地域学校協働活動推進員を中 心として、地域の力を生かし、放課 後子ども教室などによる子どもたちの 健全育成に努める。